

## ATAC カンファレンス 2015 京都 開催のお知らせ

さて、本年も下記の内容にて「ATAC カンファレンス」を開催いたします。10 月中にお申込みいただいた場合、事前割引もごさいます。皆様のご参加をお待ちしております。

### ATAC カンファレンス 2015 開催概要

ATAC カンファレンスは「テクノロジー」と「コミュニケーション」をキーワードに、社会の中で困難さを抱える人たちを支援する技術と考え方を多くの人と共有するために 1996 年から毎年開催されています。今年は更に先を見つめ、これまでの内容に加えて、その技術を活用して人が幸せに「学ぶ・働く・暮らす」生き方の創造・社会の意識の変革・制度の整備にまで踏み込んで、福祉や教育分野以外の幅広いみなさんと共に考える機会も企画したいと思ひます。セミナーでは、現場ですぐに役立つ技術や、それを生かすために必要な考え方を専門家が分かりやすくお話しします。

#### [日 程]

2015 年 12 月 18 日 (金) ~ 12 月 20 日 (日)

12 月 18 日 (金) 9:30~16:30 (受付開始 9:00) Academic Day

12 月 19 日 (土) 9:30~17:20 (受付開始 9:00) Gathering Day

17:30~18:30 イブニングセッション

12 月 20 日 (日) 9:30~15:30 (受付開始 9:00) Practical Day

[会 場] 国立京都国際会館 〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

[主 催] 株式会社 atacLab <http://atac-lab.com/>

### ATAC カンファレンス事務局

株式会社 atacLab / エイタックラボ

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16-28 グラスシティ渋谷 6F

Tel : 03-4360-5078 / Fax : 03-5309-2088

e-mail : [seminar@atac-lab.com](mailto:seminar@atac-lab.com)

URL : <http://atac-lab.com>

## ATAC (エイタック) カンファレンスについて

---

我々の住むこの社会は、増え続ける選択肢に反し、生きにくさが増す時代に突入しています。加速し変化する社会に合わせるため能力を高める努力が求められますが、人の努力には限界があります。今こそテクノロジーのチカラ、人のチカラ、社会のチカラを組み合わせ、幸せに生きて行くことを学ぶ必要があります。ATAC カンファレンスはそれを支える会です。

1996年にスタートして以来、ATAC カンファレンスは支援技術(AT: Assistive Technology)とコミュニケーション技術(AC: Augmentative Communication)をキーワードに、様々な技術を伝達することで障害のある人の生活を変えるべきカンファレンスを実施してきました。その当時、この新しい考えを巻き起こそうと奮起してきた始まりは、人の「学ぶ・働く・暮らす」事に本来興味があったからこそです。それに付随する技術であるATやAACを伝達し、この20年間で様々な技術の知識は広がりました。しかし、技術を前面に出すと多くの人はその知識の習得に満足してしまいます。まだ、その技術を活用して幸せに学び働き暮らす生き方の創造・社会の意識の変革・制度の整備のレベルまで達していません。この次のステップに進むことこそ、これからの私たちに必要なチカラだと考えます。

そして、これらのATACで提供してきた技術や思想は、生き辛さを増す現代社会で全ての人活用出来るはずでなく、障害のある人だけでなく、これまで支援に関わってきた人、社会で何かしら悩みを抱える人、組織で人を束ねる人までも含め、全ての人々の生き方をトータルに考える時期であるとも言えます。時を同じくしてiPS細胞やロボット等の我々をエンハンスメント(能力増強)する技術の発展が躍進を遂げています。エンハンスメント(能力増強)を我々はどうかとらえるべきか、またそれを前提として学び・働き・暮らすための学校や会社はどのようにあるべきかを議論する時期に来ています。

そこで、今年からATACカンファレンスは以下のキーワードをもって新しい活動を開始します。

- A: Augmentative (拡大)
- T: Talent (能力)
- A: Acceptable (受容)
- C: Community (コミュニティ)

その一方でまだ十分な技術が確立されてなく、生活に大きな困難を抱える人たちの支援をATACが失ったわけではありません。今まで通りAT (Assistive Technology) と AAC (Augmentative and Alternative Communication) という柱も重要であり、これまで大切にしてきた課題にもATACカンファレンスが引き続き挑戦する姿勢は変わりません。

# 今年の ATAC カンファレンス

---

## テーマ「学び働き暮らすためのチカラ」

今年の ATAC カンファレンスは、以下の 3 つの柱のもと、12 月 18~20 日の 3 日間行なわれます。

- (1) 実践研究を通じて、日々の取り組みを考える, **Academic Day**。
- (2) 皆で集まりこれからの社会を議論し、整理する, **Gathering Day**。
- (3) 実用的な知識や考えを身につける, **Practical Day**。

従来初日に行われていたプリカンファレンスは、Practical Day として日曜日に実施し、多くの人に参加して頂けるようにします。代わって金曜日は Academic Day として学術的な発表・研修の機会にしていきます。土曜日は様々な分野の人が集い、心を刺激する話を聞いて議論する Gathering Day。参加者には、各自のニーズに合った日を選んでご参加いただけます。

### 今年の ATAC カンファレンスのセミナー概要

**Academic Day (12/18)** は、既存の古典的な特別支援教育や福祉の研究の枠の中から抜けて、誰もが生きやすい社会を構築するための能力観・社会制度などを学術的に議論する日です。学校、福祉施設、企業など多方面の現場で行われている優れた実践や研究開発、ユニークな取り組みについて、参加者から研究発表を募集します。一般の学会発表とは違い、自由な雰囲気の中で発表を聞き、その場で専門家のアドバイスや指摘を受け、より良い研究を現場の実践家の人たちに学んで頂く場を作ります。聴衆はそのやり取りを介して、日常の実践の振り返りに役立てていただけるでしょう。

**Gathering Day (12/19)** は、立場や分野を超えて様々な人が集い、考え、語り合う日です。ATAC セミナーで用意したストーリーは、現在、未来、伝統から学ぶ。社会を変えようと今挑戦し続けている実践を紹介した後、iPS 細胞やサイボーグ化する人体など、人間をエンハンスメント（能力増強）する先端の医療や技術から未来を考えます。そして、月日を重ねて人々がつないできた伝統から組織やコミュニケーションを考えます。同時間帯には、機器展示やデモ、実践発表、個別相談を行います。目の前に展示される技術やサービスを知るだけでなく、それがどういった意味をもち実践へとつながるのか、各自の現場にリアルに役立つものとなるでしょう。Gathering Day の最後はイブニングセッションを予定しております。一日の刺激を振り返り、様々な人とゆったり語り合える時間になればと願っています。

**Practical Day (12/20)** は、これまで ATAC で行ってきたプリカンファレンスです。各自が具体的に学びたい内容を選択し、実用的な知識や考え方を身につけていただけます。午前、午後ともに 8 個ずつのセミナーを予定しており、企業の皆様の製品を紹介する際は、適するセミナーと講師を調整させていただきます、セレクトしたセミナー内で講師によってご紹介させていただきます。セミナーを選択して参加していただいている参加者に、より具体的に、刺激的にご紹介できればと思います。

## ATACカンファレンス 2015 プログラム内容

※予告なく、内容が変更する場合がございます。最新情報は、ホームページでご確認ください。

### ●12月18日(金) Academic Day : 実践研究通じて、日々の取り組みを考える

定員 100名

コメンテータ : 中邑 賢龍 (東京大学先端科学技術研究センター 教授)

巖淵 守 (東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

近藤 武夫 (東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

これまでの ATAC では多くの実践や開発が報告されてきました。また、人とつながり出会う中で、施設、学校、企業など多くの現場でも、優れた実践や研究開発、ユニークな取り組みがなされていることを聞きます。それらの活動を、客観的に整理し広く共有していくチカラをつけませんか？それらを議論し、日々の取り組みを考えてみませんか？

Academic Day は、既存の古典的な特別支援教育や福祉の研究の枠の中から抜けて、誰もが生きやすい社会を構築するための能力観・社会制度などを学術的に議論する日です。福祉や教育という枠組みではなく、以下の3つのカテゴリーで研究発表を募集します。

一般の学会発表とは違い、自由な雰囲気の中で発表を聞き、その場で専門家のアドバイスや批判を受け、より良い研究を現場の実践家の人たちに学んで頂く場としたいと考えています。歯に衣着せぬコメンテータが研究計画・分析方法・まとめ方などについて鋭くコメントします。発表者はそこで得たコメントをもとに学術論文を執筆し、【Journal of ATAC (仮称)】に論文が掲載されます。聴衆はそのやり取りを介して、日常の実践の振り返りに役立てていただけるでしょう。

発表応募は、10月20日(火)で締め切りました。

- ・カテゴリー1 テクノロジーを用いたコミュニケーションに関する実践研究
- ・カテゴリー2 テクノロジーを用いた教育・生活・就労支援に関する実践研究
- ・カテゴリー3 技術開発

### ●12月19日(土) Gathering Day 皆で集まりこれからの社会を議論し、整理する

#### Annex 1: 講演会およびシンポジウム

9:30-9:45

#### ★オープニング

「これからの学び方・暮らし方・働き方」

中邑 賢龍 (東京大学先端科学技術研究センター)

9:45-10:45

★現在に学ぶ 社会を変える挑戦

- ・古典的 ICT 教育へ新しい風を吹き込む（魔法プロジェクトの挑戦）  
中邑 賢龍・井上 賞子（島根県松江市立意東小学校）
- ・意思を読みづらい人の意思を読む（OAK プロジェクトの挑戦）  
巖淵 守（東京大学先端科学技術研究センター）・青木 高光（長野県稲荷山養護学校）・  
佐野 将大（香川県立高松養護学校）

10:45-11:15 Break ポスターセッション・展示・相談会

11:15-12:15

★現在に学ぶ 社会を変える挑戦

- ・入試や就労のバリアーを解消する（DO-IT Japan の挑戦）  
近藤 武夫（東京大学先端科学技術研究センター）・小林 春彦（DO-IT Japan スカラー）
- ・学校に馴染めない子ども達の新しい学びのスタイルを築く（異才発掘プロジェクト挑戦）  
福本 理恵（東京大学先端科学技術研究センター）・当事者

12:15-13:15 Break ポスターセッション・展示・相談会

13:15-15:30（15分休憩を含む）

★未来に学ぶ これからの能力とは！？

- ・iPS 細胞は未来の医療をどう変えるか？  
高橋 政代（理化学研究所多細胞システム形成研究センター  
網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー）
- ・サイボーグ化する人体と未来の生活（仮題）  
遠藤 謙（ソニーコンピュータサイエンス研究所研究員／株式会社 Xiborg 代表取締役社長）

15:30-16:00 Break ポスターセッション・展示・相談会

16:00-17:20

★伝統に学ぶ これからの組織やコミュニケーションを考える

- ・だんじり祭りから組織を考える  
田代 洋章（岸和田市だんじり経験者）
- ・芸人の世界の強制と自由  
福岡 亮治（大阪成蹊大学）

17:30-18:30 イブニングセッション

会場内で、簡単な軽食と飲み物（アルコールは有料）を用意したイブニングセッションを開催します。Gathering Day の締めくくりとして、今年は参加者の方々に無料で自由な時間を過ごしていただけるように企画しております。是非、様々な方とのゆっくりとした語りをお楽しみください。定員がありますので事前に申し込みが必要です。イブニングセッションへの参加費は無料ですが、19 日にご参加いただいている方限定とさせていただきます。

### Annex 2 : ポスター発表および展示

ポスター発表の応募は 10 月 20 日（火）で締め切りました。

### Annex 3 : 相談会

ATAC 講師による相談会を行います。日ごろ悩んでいること、疑問に思っていることなど、ゆっくりと直接相談できる時間です。講師陣の詳細は決まり次第 HP でお知らせします。お申込みは、当日先着順で受け付けます。

（予定講師）渡辺 崇史（日本福祉大学）、河野 俊寛（金沢星稷大学）、青木 高光、井上 賞子、岡 耕平（滋慶医療科学大学院大学 専任講師）、谷口 公彦、佐野 将大、巖淵 守、奥山 俊博（東京大学先端科学技術研究センター）、近藤 武夫、平林 ルミ（東京大学先端科学技術研究センター）

## ●12月20日（日） Practical Day 実用的知識や考えを身につける日

定員：各セッション定員制 事前登録制

概要はホームページでお知らせいたします。

### 9:30-12:00 モーニングセッション

#### **(1) 「AAC（障害のある人とのコミュニケーション技法）入門」** [コミュニケーション]

重度の知的障害や自閉症の人とのコミュニケーションにおいて、きっかけさえつかめずに困っている人もいます。絵カードを試してもそれを上手く使えない人もいます。また、中軽度の知的障害のある人とのコミュニケーションも、成立しているように見えても細かな部分を伝えられないといった場合もあります。ここではそういった人たちとのコミュニケーションの技法を、分かりやすく実例と演習を交えながらお話しします。テクノロジーに自信のない人もご参加ください。

中邑 賢龍（東京大学先端科学技術研究センター 教授）

障害のある人のコミュニケーション技術について幅広く研究している。

青木 高光（長野県稲荷山養護学校 教諭）

シンボルコミュニケーションアプリ「DropTalk」の開発者でシンボルを使った

コミュニケーション実践でも我が国をリードしている。



## (2) 「不登校の子どもの学びのあり方」 【不登校の子どもの学び】

様々な理由で学習機会を失っている子ども達があります。しかし決してネガティブにばかりとらえることはありません。考え方、アイデア次第で学習の機会は作ることができ、広げ深めることも可能です。ユニークな学校や学校以外で学びを楽しんできた当事者に実体験を語ってもらいながら、異才発掘プロジェクト ROCKET でも実践している学びの本質をお伝えします。子ども達を潰さない教育と一緒に考えましょう。

福本 理恵（東京大学先端科学技術研究センター 学術支援専門職員）

異才発掘プロジェクト ROCKET のプロジェクトリーダーとして、料理や農作業といったリアルなアクティビティから学ぶことを軸としたカリキュラム開発に携わり、新たな学び方と働き方を提供している。

藤井 良彦（東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員）

中学校に1日も通わずに独学で学んだ体験を生かしながら、現在は東京大学先端科学技術研究センターで不登校の調査に携わる。「独学の「不登校」：哲学者の学校拒否論 先端研から」の著者でもある。

富樫 多紀（東京大学先端科学技術研究センター 学術支援専門職員）

世界で一番自由な学校として知られるイギリスの「サマーヒル・スクール」へ12歳で単身留学。

ユニークな教育経験を経て、現在は異才発掘プロジェクト ROCKET で外部講師のコーディネートを担当している。

## (3) 「働き方に困難さを感じているあなたに必要な 10 のヒント」 【働く】

自分のできる働き方と、職場で求められる働き方、そこにズレが生じるがために苦しんでいる方はいませんか？またその原因を、能力が劣るからだとか、努力が足りないからだと言われることはありませんか？ここでは、今までの常識を少し離れてみましょう。挨拶が苦手な人は会釈だけで、あるいはメールで済ませることのどこに問題があるのでしょうか？フルタイムで働けなくても年金や生活保護と組み合わせて自分のペースで短時間働いて幸せに暮らす人もいます。様々な人と研究室で一緒に働いてきた実体験や事例を紹介しながら新しい働き方を提案していきます。

近藤 武夫（東京大学先端科学技術研究センター 准教授）

DO-IT Japan という障害学生を ICT で支援するプログラムを中心に進め、入試の配慮の合理性を研究している。

また、研究室において、多くの障害や困難を抱える人と働きながら就労の配慮の合理性についても研究を進めている。

## (4) 「医療とタブレット 見えにくさを感じる人」 【医療・制度】

眼科医なのに、一切手術をしない、何も薬を処方しない。そんな一見風変わりに思える講師が、なぜそのような方法を選択してきたのか。そこには、多くの見えにくさを感じる人との関わりから得た、今本当に必要なものへの気づきがあります。このセミナーでは、見えにくさを感じる人との様々な実践を踏まえつつ、タブレットを使って快適に生活することや働くために便利な情報をお伝えします。具体的なアプリや使用例、アイデアをたくさん紹介し、すぐに使える方法を分かりやすくお話しします。

三宅 琢（株式会社 Studio Gift Hands 代表取締役／産業医）

ICT を患者に紹介しながら診察・治療を行う眼科医。産業医でもあり、様々な会社でアドバイスを行っている。

## **(5)「教師や親に必要な福祉制度」** 【医療・制度】

みなさん福祉制度をどの位ご存知でしょうか？使える福祉制度を知っていると、生活で困る様々なケースに合わせて、上手に利用できる可能性があります。行き詰っている生活や、無理をしてきた生活から一歩踏み出す機会になるかもしれません。学校を出て働けない人はどうすればいいのか？ 自宅からしか通学や通勤の方法がないと諦めている人はどのような制度が利用できるのか？ 毎日8時間働くことができない人は就職ができないのだろうか？ 障害年金だけで生活をすることはできるのだろうか？ 様々な困ったケースで利用できる制度について、事例をふんだんに使って分かりやすくお伝えします。

奥山 俊博（東京大学先端科学技術研究センター 学術支援専門職員）

これまでの歴史も踏まえた福祉制度に精通しており、相談者に合わせて制度の紹介や活用方法を提案してきた。また、車椅子ユーザーとして20年以上福祉機器をウォッチし続けている。

## **(6)「学習困難な子どもの支援」** 【学習困難】

覚えられるからとメモを取らない。書くことを面倒くさがる。忘れ物が多い。そんなちょっとした子どものシグナルには、その背景に認知的特性がある可能性があります。その場合、苦手なことは繰り返しの練習によって大きく改善するものではありません。ましてやる気がない訳でもありません。ここでは、学習に困難を抱える子ども達を理解するための、日常生活の行動を観察するポイントや、客観的な評価の方法をお伝えします。子どもを理解し、適する支援へとつなげるために、読み書きだけでなく幅広く認知特性についても説明しながら、分かりやすく説明します。

河野 俊寛（金沢星稜大学人間科学部 教授／言語聴覚士）

子どもの書きのプロセスを長年にわたって研究し、読み書き困難を理解するためのURAWSS（ウラウス）という評価を開発した我が国の書字障害研究の第一人者。

## **(7)「肢体不自由とパソコン・タブレット・スマホ」** 【学習困難】

インクルージョンの推進は重要ですが、肢体不自由のある人が通常学級や一般企業で働くことは、時として彼らに大きな負荷をもたらすことがあります。無理をして体調を崩すことも少なくはありません。それが、進学や一般就労の足かせになることもあります。無理せず長くその場で学んで働くために上手にテクノロジーを活用するためにはどのような方法があるのでしょうか。ちょっとした工夫や知識で、上手にテクノロジーを活用して生活をする方法があります。ここでは身近にあるテクノロジーの中から、役立つものを厳選してご紹介していきます。

渡辺 崇史（日本福祉大学 教授）

リハビリテーション・エンジニアでありながら常に現場を離れない実践的研究者。

13:00-15:30 アフタヌーンセッション

## **(8)「重度重複障害のコミュニケーション」** 【コミュニケーション】

重度重複障害のある人の意思は、どのように読み取ればよいのだろうか。また、こちらの表現はどうやって相手に伝わったと知ることができるのだろうか。日々多くの子ども達に関わり実践を試行錯誤



している教師と、そこに先端技術を導入したり、活動を客観的に評価しようと努める研究者がコラボをし、分かりやすく実践的な方法をお伝えします。

谷口 公彦（香川県立高松養護学校）・佐野 将大（香川県立高松養護学校）

共に、日々重度重複障害のある子ども達と関わり、実践を続けている特別支援学校教員。

武長 龍樹（東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員）

行動を科学する心理学者。重度重複障害の子どものコミュニケーションの研究に取り組んでいる。

### **(9)「学習意欲を失った子どもの教科書としての家事・関わりのポイント」** 【不登校の子どもの学び】

教科書を使って学ぶ。そんな常識に捕らわれていませんか？様々な理由から学習意欲を失った子ども達にこそ、教科書ではなく自ら体と心を働かせてリアルな実体験からの学びこそが大きな意味を持ちます。日常の家事の中に、ちょっとドアを開けた先の身近な自然の中に、そしておいしいと笑みがこぼれてしまう食事の中に、学びの入口が満ち溢れています。そして、それらを教科へつなげていく。実学を教科書にするために試行錯誤を繰り返してきた講師から、教科書ではない学びの方法をお伝えします。

また、様々な特性を持つ生徒や特殊な家庭環境を持つ生徒達、彼らを取り巻く教師や親と一緒に、困難の本質を理解し相談の実践を重ねてきた講師から、学校でのリアルな取り組みとポイントをお伝えします。

福本 理恵（東京大学先端科学技術研究センター）

異才発掘プロジェクト ROCKET のプロジェクトリーダーとして、料理や農作業といったリアルなアクティビティから学ぶことを軸としたカリキュラム開発に携わり、新たな学び方と働き方を提供している。

岡 耕平（滋慶医療科学大学院大学 専任講師）

心理学をベースに学習や生活に困難を抱えた人の学びや雇用の研究を実施。理論だけでなく、実践的な研究を行っている。現在は、高等学校普通科の生徒や教師に対して学習支援や相談を行うために定期的に学校訪問も行っている。

### **(10)「障害のある人を雇用するための 10 のポイント」** 【働く】

#### **～多様な人の組織をマネジメントする～**

障害のある人の雇用が義務づけられていますが、社会的貢献という視点だけでは、雇用者も働く人もストレスがかかっていきます。

実際、障害者雇用枠で入社した人の定着率は高くありません。働き方、勤務時間、業務内容も他の社員と同様にとりこの視点から障害者雇用を続けるのは無理があるような気がします。ここでは、障害者雇用をネガティブにとらえるのではなく、会社を活性化しイノベーションを生み出して行く可能性のあるポジティブなものとしてとらえます。そのためのマネジメントを中心に新しい時代の障害者雇用について、実践事例を交えながら解説していきます。

近藤 武夫（東京大学先端科学技術研究センター 准教授）

中邑 賢龍（東京大学先端科学技術研究センター 教授）

### **(11)「教師や親に必要な薬の知識」** 【医療・制度】

目の前にいる子どもに本当に薬が必要なのだろうか？薬によって子どもの本来の力、活力、思考力を失ってしまうのではないかな？そもそもこの子らしさを無くすのではないかな？そう悩みながらも処方されたままに薬を飲み続けていませんか？または、全く飲まずに大変な思いをしておいませんか？

ここでは、精神科医が多くのケースを紹介しながら、知っておきたい薬の知識や、薬を検討する際のドクターとの付き合い方などについて分かりやすくお伝えします。

小澤 いぶき（東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員）

いじめや教育にも関心を持ち、引きこもった若者たちの支援にも積極的に関わる精神科医。

困難を抱える子どもの心理的ケアや相談にも多く関わっている。

## **(12)「教え方が上手な先生達の極意」** 【学習困難】

学習障害の疑いがあればすぐに読み上げソフト、ワープロ、電卓を使えばよいのでしょうか？ 実は障害と言うレベルではなく、勘違いや学び方を気づいていないなど小さなひっかかりが大きなたまづきを生んでいる子どもがいます。まずはこのひっかかりを分析し、指導を行なうことで、たまづきをクリアする子どももいます。ここでは多様な子ども達の事例を紹介しながら、テクノロジーの活用前に試してみるべきことや、ちょっとした教え方の工夫・視点によって子どものひっかかりを解消する方法をお伝えします。実際の教材やアプリもご紹介いたします。

井上 賞子（松江立意東小学校 教諭）

iPad を使った発達障害児支援では我が国をリードする。

タブレットに拘ることなく様々な方法で子どもの能力を引き出す実践にはいつも驚かされる。

## **(13)「障害のある子どもが入試で配慮を受けるために」** 【学習困難】

2016年4月より障害差別解消法が施行され、合理的配慮の提供が義務付けられます。障害のある人が頑張るだけでなく、配慮することに合理性があればそれを認めていこうという考え方です。しかし、制度だけがひとり歩きしても意味がありません。自分に適する配慮を知り、まずはそれを日常生活や学習環境で試みることも大切です。ここでは、これまで学習に困難のある子ども達が入試で合理的配慮を受けてきた事例をご紹介します。彼らが、毎日の生活の中で具体的にどのような学びをしているのかを紹介し、配慮を受けるために大切な考え方をお話しします。

平林 ルミ（東京大学先端科学技術研究センター 助教）

言語聴覚士・臨床発達心理士である立場から様々な学習に遅れのある子ども達のテクノロジー活用に関する相談に応じている。

## **(14)「アルテックを用いた福祉・特別支援教育アプリの開発（技術者向け）」** 【学習困難】

スマホやタブレットなど身の回りにあるテクノロジー（アルテック）を活用することで支援技術の開発コストと時間は大幅に減らすことができます。そのような方向性での技術開発が今後ますます盛んになると思いますが、そこで生まれた製品がユーザーに受け入れられ、広く使われるとは限りませせん。当事者と支援技術と開発者だけでなく、流行やインフラの整備など社会の変化も取り組んだ技術開発・利用のビジョンを示す必要があると思います。ここでは、製品開発の事例を紹介しながら、その試行錯誤の過程やポイントをお伝えし、今後の方向性を整理していきたいと思います。

巖淵 守（東京大学先端科学技術研究センター 准教授）

アルテックベースに支援技術を開発するエンジニア。海外の動向にも詳しい。

## ATACカンファレンス 2015 参加申し込み

### ●参加費詳細

- ※18日(金)・20日(日)の参加費には資料代が含まれます。
- ※19日(土)に参加いただく方は、イブニングセッションに無料でご参加いただけます(事前登録制)。
- ※20日(日)のセッションは、事前に午前と午後のプログラムを選択ください(定員制)。
- ※19日(土)は、会場横でお弁当等の販売を予定しております。
- 18日(金)、20日(日)の販売はありません。
- 必要な方は、あらかじめ昼食をご持参いただく事をお勧めします。
- ※会場内レストラン、および、徒歩15分程度にコンビニもございます。

参加日	事前割引価格 (10/31までのお申し込み)	11/1以降のお申し込み
<b>12月18日(金) : Academic Day</b> ◆ 実践研究を通じて、 日々の取り組みを考える	<b>8,000 円</b>	<b>10,000 円</b>
<b>12月19日(土) : Gathering Day</b> ◆ 皆で集まりこれからの 社会を議論し、整理する	<b>10,000 円</b>	<b>12,000 円</b>
<b>12月20日(日) : Practical Day</b> ◆ 実用的知識や考えを身につける	午前(モーニングセッション) のみ <b>5,000 円</b> 午後(アフタヌーンセッション) のみ <b>5,000 円</b> 一日 <b>8,000 円</b>	午前(モーニングセッション) のみ <b>6,000 円</b> 午後(アフタヌーンセッション) のみ <b>6,000 円</b> 一日 <b>10,000 円</b>
<b>12月19日(土) : Gathering Day</b> <b>12月20日(日) : Practical Day</b> 両日参加	<b>16,000 円</b>	<b>18,000 円</b>

### ●事前登録制 セッション<12月20日(日) Practical Day>

1つのテーマに従って半日じっくり学んでいただけるセミナーで午前・午後、各7つのコースの中の1つを事前に選択して頂きます(定員:各セッション50名 事前登録制)。知識を得た感じになるのではなく、得た知識を活用できるようにするのがこのセミナーの目的です。

- 9:30-12:00 モーニングセッション
- 12:00-13:00 ランチ
- 13:00-15:30 アフタヌーンセッション

### ●事前登録制 イブニングセッション (19日にご参加いただいている方限定)

会場内で、軽食と飲み物(アルコールは有料)を用意したイブニングセッションを開催します。Gathering Dayの締めくくりとして、今年は参加者に無料で自由な時間を過ごしていただけるように企画しております。是非、様々な方とのゆっくりとした語りをお楽しみください。参加費はかかりませんが、事前のお申し込みが必要です。

## ●参加注意事項

### ○参加申し込みについて

- ・期日によって早期割引が適用されます。お早めにお申込みください。
- ・[ドメイン指定受信の設定のお願い]  
携帯電話のメールアドレスを使用されている方で、ドメイン・指定受信・本文に URL があるメールの受信拒否などの制限をかけている方は、当方からのメールを受信出来ない場合がございます。その際は、当方ドメイン「atac-lab.com」を指定受信設定してください。
- ・グループでの申し込みは基本的にはできません。お手数ですが一人ずつお申し込みください。
- ・事前申し込み、及び事前振込みの締め切りは 12 月 14 日(月) とさせていただきます。それ以降のお申し込み及びにお支払いは、直接会場にてお願いいたします。ただし、事前に定員に達した場合には、会場にお入りいただけない場合がございますのでご了承ください。
- ・Practical Day (12 月 20 日 (日)) は、各コース定員制 & 事前登録制のセッションです。  
お申し込み時にコースを選択ください。当日の申し込み、当日のコース変更は出来ませんのでご了承ください。
- ・領収書は、当日受付にてお渡しいたします。
- ・下記の方は参加費が無料になります。ただし、事前の登録が必要ですので、参加申し込み時に、介助内容・同伴者名・希望日をお知らせください。
  1. (参加費を支払って) カンファレンスに参加する障害当事者のアテンダント (介助者) 1 名
  2. (参加費を支払う) カンファレンス参加者に同伴する (託児サービスを利用しない) 中学生以下のお子様
- ・現在お知らせしているプログラムは変更する可能性があります。最新のプログラムはホームページにてご確認ください。

### ○資料について

- ・18 日 (金)・20 日 (日) の参加費には資料代が含まれます。

### ○託児・サポートサービスについて <受付締切: 11 月 20 日>

- ・お子様をお連れの方には託児 (有料) を、障害のある方で通訳などの情報保障や介助が必要な方には可能な範囲でサポートサービス (一部有料) を行っています。ご希望の際は、希望内容・希望日をお知らせください。
- ・託児・サポートサービスの利用をご希望の方は、参加申し込み時に併せてご連絡ください (当日の受付は行っておりません)。
- ・託児・サポートサービスは 12/18-20 のカンファレンスの期間中、12/19-20 の二日間のみ行っております。
- ・なお、託児サービス料はお子様一人につき、1 日 3,000 円、2 日 5,000 円です。また、日数に関わらず別途保険料 600 円 (一人につき) が必要です。サービス料及び保険料につきましては、当日、託児受付にてお支払いください。詳細につきましては後日改めてご連絡させていただきます。

### ○イブニングセッション <12 月 19 日 (土) 17:30-18:30> 事前登録制

- ・12 月 19 日 (土) のカンファレンス終了後に会場内で、簡単な軽食と飲み物を用意したイブニングセッションを開催します。定員がありますので事前に申し込みが必要です。参加費は無料ですが、19 日にご参加いただいている方限定とさせていただきます。

## ●参加申し込み方法

ホームページより、参加情報をお知らせください。Fax でのお申し込みをご希望の際は、以下の用紙にご記入の上、事務局までお送りください。

参加費は FAX 用紙上で計算頂き、指定の口座までお振込みください。ご入金確認後、「受付完了」のハガキをお送りいたします。

ATACカンファレンス 2015 京都 (2015/12/18-20) 参加申込書

フリガナ お名前		性別	男性・女性
法人名・会社名			
部署名			
所属区分	(例：教師，指導員，研究職 等)		
所在地	〒		
TEL		FAX	
e-Mail	@		
備考			

ATACカンファレンス申し込み

▼該当の参加内容に○をつけてください

参加日	11/1 以降のお申し込み		
12月18日(金) 1日のみの参加 <b>受付終了</b>	<b>10,000円</b>		
12月18日(金)・19日(土) 2日間の参加 <b>受付終了</b>	<b>22,000円</b>		
12月18日(金)・19日(土)・20日(日) 3日間の参加 <b>受付終了</b>	<b>28,000円</b>		
12月19日(土) 1日のみの参加	<b>12,000円</b>		
12月19日(土)・20日(日) 2日間の参加	<b>18,000円</b>		
12月20日(日) 1日のみの参加	<b>10,000円</b>		
12月20日(日) 午前のみ参加	<b>6,000円</b>		
12月20日(日) 午後のみ参加	<b>6,000円</b>		
<b>20日 セッション コース選択</b> ※20日の参加をご希望の場合は、P6~10よりコースを選択ください。 <b>【コース 1 2】の受付は終了いたしました</b>	<table border="1"> <tr> <td>モーニングセッション コース ( )</td> <td>アフタヌーンセッション コース ( )</td> </tr> </table>	モーニングセッション コース ( )	アフタヌーンセッション コース ( )
モーニングセッション コース ( )	アフタヌーンセッション コース ( )		
<b>イブニングセッション</b> 12月19日(土) 17:30-18:30 参加費無料 ※19日に参加している方限定	参加しない ・ 参加する		
<b>託児・サポートサービスについて</b> ※ご希望の際は、備考欄で詳細をお知らせください	希望なし ・ 希望あり		
<b>同伴者について</b> ※ご希望の際は、備考欄で詳細をお知らせください	同伴者なし ・ 同伴者あり		

▼振込方法を選択ください。

振込方法	郵便振替・銀行振込(ゆうちょ銀行)・銀行振込(三井住友銀行)
振込名義	(申込者名と違う場合はご記入ください)

※請求書の送付はございません。お振込み確認後、受付完了のハガキをお送りいたします。

▼振込先情報

申込時にご連絡いただいた振込方法ではない方法での振込となった場合、  
変更の連絡は不要ですが、振込の名義が参加者名と異なる場合は、  
事前にお知らせいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

郵便振替

【口座番号】00100-1-696274 (記号 00100, 番号 696274)  
【口座名義】株式会社 atacLab

銀行振込 (ゆうちょ銀行)

【金融機関名】ゆうちょ銀行 (9900)  
【支店名】〇ー九 (ゼロイチキユウ) 支店 (019)  
【口座種別】当座  
【口座番号】0696274  
【口座名義】株式会社 atacLab  
【フリガナ】カ) エイタックラボ

銀行振込 (三井住友銀行)

【金融機関名】三井住友銀行 (0009)  
【支店名】渋谷支店 (654)  
【口座種別】普通  
【口座番号】9344818  
【口座名義】株式会社 atacLab  
【フリガナ】カ) エイタックラボ

**ATAC カンファレンス事務局**

株式会社 atacLab / エイタックラボ  
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16-28 グラスシティ渋谷 6F  
Tel : 03-4360-5078 / Fax : 03-5309-2088  
e-mail : seminar@atac-lab.com  
URL : <http://atac-lab.com>

